



Rotary Club

of Mishima-South Weekly Report

三島南
ロータリー
クラブ週報

2007～2008年度 国際RI会長 ウィルフリッド・J・ウィルキンソン
ロータリー2008：ロータリーは分かちあいの心



三島南ロータリークラブ 会長 古屋 憲男
クラブ会長基本テーマ 「原点を学ぶ」

第883回例会 2007.11.16(金) 曇り

司会：石井邦夫君 指揮：遠藤正亀君
ロータリーソング「日も風も星も」

副会長 大房 正治 幹事 西原 克甫

事務所 三島市大社町17-4
Tel.055-976-6351 Fax.055-976-6352
<http://www.mishima-south-ro.gr.jp/>

例会場 三島グランドホテル Tel.055-975-4300
毎週金曜日 第1・第3夜間例会

会長挨拶

三島南ロータリークラブ

会長 古屋憲男君

■ロータリー財団の恒久基金

ロータリー財団の創始者、アーチ・クランチは「私たちはこの財団を今日・明日の時点ではなく、何年、何世代といった視野で見つめるべきである」と語っています。この長期的な視野こそ、ロータリー財団の恒久基金が、ロータリーの教育的、人道的プログラムの将来を決定する重要な方法であると考えられている理由です。この基金に対する寄付は、将来に備えて投資され、投資からの収益のみが財団の各プログラムに使われます。恒久基金は、財団支援のために安定して確実な資金を提供し、常に最低限のプログラム活動を保証するほか、将来に新しいプログラムを開始したり、プログラムを拡大する可能性をもたらすこととなります。

財団は、恒久基金への寄付者に対し、大口寄付者、遺贈友の会会員、ベネファクターといった特別な認証を設けています。

大口寄付者とは、米貨10000ドル以上の寄付をする人です。

遺贈友の会会員とは、遺産計画に米貨10000ドル以上を恒久基金に寄付することを付記した人です。

財団ベネファクターとは、基金へ米貨10000ドル以上の寄付を遺言に付記するか、あるいは同額の現金寄付をする人です。米貨25000ドル以上の寄付には、特別な冠名の機会が与えられます。恒久基金への寄付者は、ロータリーの遺産を築きつつ、ロータリー財団が将来も永く、確実に世界で善行を行う多大な影響力を維持できるようにしているのです。

「ロータリーのいろは」より

今日は、ロータリー財団・米山財団月間ですので、クラブフォーラムでは片野委員長からのレクチャーやお願いもある

うかと思えます。大切な事は我々が納金したものがどのように活用され、1個人では出来ない数々の世界的奉仕が実現出来ているかを知る事かとも思えます。

それもロータリアンとしての埃や達成感の一つではないでしょうか？

幹事報告

幹事 西原 克甫君

1. ガバナー事務所より地区大会のお礼状が来ています。ご出席ありがとうございました。
2. 2007年度規定審議会で標準クラブ定款が改正され、第9条出席(旧第8条)の第5節出席の記録が下記のように改正されました。

実施月は、12月分の出席報告からです。

出席率の算出

2007年規定審議会において採択された制定案07-17により、クラブ定款第9条出席(旧第8条)の第5節出席の記録が改正されました。

【第9条 出席】

第3節 理由のある欠席。

次のような場合、出席規定の適用は免除されるものとする。
(a)理事会承認の条件と事態に従った欠席の場合。理事会は、正等かつ十分な理由による会員の欠席を認める権限を持つ。
(b)一つまたはいくつかのロータリークラブのロータリー歴と会員の年齢の合計が85年以上であり、さらに出席規定の適用を免除されたい希望を、書面をもって、クラブ幹事に通告し、理事会が承認した場合。

第4節 RI 役員の欠席。

会員が現役のRI役員である場合、その会員に対する出席規定の適用は免除されるものとする。

第5節 出席の記録。

本条第3節(b)または第4節の下に出席規定の適用を免除された会員は、本クラブの出席率の算出に使う会員数に含まれない。

この結果、出席率を算出する際に以下の式をご使用頂くこととなります。

出席率(%)=

[第9条第3節 b)および第4節で免除された会員を含む出席会員数P] × 100 / [正会員総数T] - [A] + [B]

A:クラブ定款第9条第3節 b) 年齢・ロータリー歴の合計が85年以上およびクラブ定款第9条第4節 RI役員で免除された会員数

B:上記Aのうち、例会に出席した会員数

なお、クラブ定款第9条第3節 a) 理事会承認の条件と事態に従った欠席で出席を免除された会員は、従来の規定では、計算式の分母および分子に含まれませんが、この改正により出席・欠席いずれも出席率計算の対象となります。

例:

クラブの会員構成

正会員数

T:100名

クラブ定款第9条第3節 b) 年齢・ロータリー歴の合計が85年以上およびクラブ定款第9条第4節 RI役員で免除された会員数

A:20名

上記出席免除会員のうち、例会に出席した会員数

B:10名

出席免除会員を含む、例会に出席した会員数

P:80名

$$\text{出席率} = \frac{80}{100 - 20 + 10} \times 100 = 89\%$$

おめでとう

会員誕生日 11月20日 西原克甫君

11月27日 野中信行君

出席報告

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	31/35	88.57%	32/35	91.43%
今回	24/34	70.59%	会員総数	36名

欠席者

あなたが見えなくて残念でした。

石井司君、内田君、岡君、加藤君、金澤君、田中君、中山君、望月君、山口雅君、渡邊君

ようこそ
南クラブへ

ゲスト・ビジター

大川照与さん(大房君・保坂君のゲスト)

😊 スマイルボックス

片野誠一君

本日はクラブ奉仕委員会のクラブフォーラムです。よろしくお願ひします。

土屋巧君

ゴルフの県アマでは大勢の方々から応援いただきましてありがとうございました。初日は2オーバー6位タイと頑張りましたが、2日目は84と本来の実力がでて、結果42位で終わりました。来年また頑張ります。また応援してください。

西原克甫君

先週はお休みにして申し訳ありませんでした。鈴木政則様には、大変お手数をおかけしました。

遅ればせながら11月4日日曜日、地区大会ご出席ありがとうございました。スマイルします。

矢岸貞夫君

11月20日から放置自転車贈呈式でタイに行ってきます。根津さん、ご苦労様です。よろしくお願ひします。

山上光喜君

日本ガンバレ!! 技能五輪出場者の人たちにエールを送りたいと思います。

山田定男君

地域の会議がありまして早退します。片野さん、お話を聞かずに失礼します。

山本良一君

来週21日水曜日はタイへの出発です。12名の訪問団となります。早朝の出発ですので、見送りは結構です。

米山晴敏君

皇太子様が会社の前を通り、ゆっくり走っていたので目が合いました。手を振りながら笑顔でした。裾野市の若い人たちが手づくりで「沖縄フェスタin裾野」というイベントをやります。私も裏で応援しています。奥さん、子どもさんが興味がありましたら見に行ってください。但し、有料です。申し訳ありません。スマイルします。

委員会報告

クラブ名変更特別研究プロジェクト委員会

委員長 鈴木政則君

12月7日の総会でクラブ名を決めます。

お手元に資料を配布しましたが、残っている名称は、せせらぎ三島RC、三島せせらぎRC、湧水三島RC、ばいかも三島RC、そして現状の三島南RCです。

当日欠席される方は私のほうにFAXなどで投票を行ってください。

卓話 クラブフォーラム・ロータリー財団・米山

三島南RCクラブ奉仕委員会

委員長 片野誠一君

1. 国際ロータリー

【国際ロータリーの使命】

国際ロータリーは世界中のロータリー・クラブの連合体であります。国際ロータリーの使命は、加盟クラブの結束をはぐくみ、世界にくまなくロータリーを発展させ、ロータリーの活動を世界中に知らせ、国際規模の管理体系をもって運営されています。

2. ローター財団

【ロータリー財団の使命】

ロータリー財団を構成する法人会員は国際ロータリーだけであり、ロータリー財団の正式名称は、「国際ロータリーのロータリー財団」です。国際ロータリーと法的に組織は違っても、その目的・使命・活動は両者共に一体のものであります。

ロータリー財団の使命は、地域レベル・全国レベル・国際レベルの人道的、教育的、文化交流プログラムを通じて、ロータリーの綱領とロータリーの使命を遂行して、世界理解と平和を達成しようとする国際ロータリーを支援することです。そしてロータリー財団の使命である国際的活動に新しく、地域レベル、全国レベルの活動を加えることによって、ロータリー財団の活動基盤と範囲がさらに広がることになりました。

【ロータリー財団のプログラム】

(クラブで参画できる主な財団プログラム Ⅹ 地区財団活動資金「DDF」によるプログラム)

・国際親善奨学生の推薦

ロータリー財団の最初のプログラムとして、1947年に発足し、民間レベルとしては世界最大規模の奨学制度であります。ロータリー財団の奨学金の目的は男女を他国の教育機関で勉学させることによって、国民間の理解と友好関係に寄与することを目的にしています。毎年800から1,300名くらいの国際親善奨学生がロータリー・クラブと地区、学校や市の機関、その他公式、非公式の参加を通して、受け入れ国の人々に対する優れた「親善使節」として行動しています。三島南クラブでは過去に1名の奨学生を送っています。また「ロータリー財団学友」制度があり、財団からプログラム補助金(奨学金)を受けた10万以上の人々を指しています。財団学友には、国際親善奨学生、ロータリー世界平和フェロー、研究グループ交換チーム、等々の受領者であります。これらの才能豊かで献身的な学友は、ロータリーを熟知しロータリーの国際理解と世界平和の促進を共有し財団の強力な提唱者であります。

・地区補助金による社会奉仕

クラブまたは地区は、地区内、国内、またはRCのない国のニーズに応えるプロジェクトを実施し、一定の条件を満たせば地区補助金を受け取ることができます。三島南クラブでは過去に2回の地区補助金を受けています。本年度も地域開発奉仕プロジェクトによる環境事業に対して補助金を申請し承認されています。

・マッチング・グラントによる海外支援

ある国のRCが人道的プロジェクトを実施しようとしたが、資金や専門知識が不足している場合、海外に援助をもとめ、他国のために尽くしたいと思っているRCや地区がこれに協力しあうのがこのプロジェクトであります。補助金は5,000ドルから25,000ドルです。プロジェクトの規模としては1万ドル以上になります。

・研究グループ交換(GSE)の推薦及び受け入れ

他の国の地区と地区どうしの、提携による社会人を対象とした研究グループ交換事業であります。本年度は3350地区のタイ国のバンコックとの交換事業を実施します。受け入れは11/20から11/18来日メンバーはリーダー1名を含み計5名であります。また派遣は来年2月23日出国予定であります。

(財団独自の主なプログラム Ⅹ 国際財団活動資金「WF」によるプログラム)

・ボランティア奉仕活動補助金プログラム ・ポリオ・プラス

・RC世界平和フェローの推薦 ・大学教員の資金推薦

・RC平和及び紛争解決研究フェローの推薦 等

のプログラムがあります。

【ロータリー財団を支えている寄付金】

・年次寄付(クラブ)

使途を決めずに寄付し、ロータリー財団によって3年間資金運用し3年後にシェア・システムにより「WF」50%、「DDF」50%ずつ資金をプログラムに使う。年次寄付は毎年100ドル/人の寄付をお願いしていますが、個人の年次寄付はカウントされ、100ドル以上が財団の友、1,000ドル以上がポール・ハリス・フェロー、2,000ドル以上がマルチプル・ポール・ハリス・フェロー、の認証を受けられます。現在南クラブでは、財団の友が18名、ポール・ハリス・フェローが17名、であります。

・恒久基金(個人)

元金を使わない基金です。投資収益のみを財団プログラムに毎年使う。1,000ドルを寄付するとベネファクターの認証が受けられます。現在南クラブでは16名が認証されています。11位/82クラブ

今年度は2名の方にベネファクター認証のご承諾を頂いております。

その他・冠名基金・使途指定寄付・大口寄付者等があります。

3. (財) 米山記念奨学会

【米山記念奨学事業】

(寄付はクラブを経由し一人7,000円/年を頂いております)

米山記念奨学事業は世界平和を願い青少年教育に尽くした米山梅吉氏の遺徳を記念する事業として東京RCで考えられ、戦争の過ちを二度と繰り返さないため米山基金を設立して、日本で学ぶ外国人留学生を支援し、平和を願う日本人の心、日本の文化を肌で感じてもらう機会をつくり、日本と世界を結ぶ平和の架け橋となって活躍する人材を養成しようとしたのが米山記念奨学事業です。1967年に文部省から財団法人の許可を得て、これまでに米山記念奨学会が支援してきた留学生は全国で109ヶ国、13,902人(07年4月)にのぼり、2620地区だけでも20ヶ国302人になります。これは民間における奨学事業としては国内最大規模のものであります。奨学事業の最大の特長は、奨学生に金銭的な支援だけでなく「世話クラブ・カウンセラー制度」により、クラブが奨学生を受け入れ奨学生に例会や

奉仕活動に参加してもらい、ロータリアンと交流することにより、平和日本への理解とロータリーが求める奉仕の精神や世界平和への願いを留学生に伝えることができます。現在2620地区では07年度の米山記念奨学生として中国より12名、ベトナムより5名、台湾より2名、スリランカより2名、計21名の奨学生を支援しております。

4 (財) 米山梅吉記念館

【米山梅吉記念館の運営】

(寄付はクラブを経由し一人1,000円/年を頂いています)

米山梅吉記念館は、日本ロータリーの創始者米山梅吉翁の遺徳を偲び、その偉業を讃え、ロータリー精神の普及を図るため、昭和44年財団法人米山梅吉記念館(旧館)として発足しました。米山家本邸跡地の提供を受け、米山家ゆかりの人々、近隣11のRCの協力と2620地区をはじめ2590、2780地区、東京RC、米山記念奨学会等の寄付によって建設・運営されてきました。その後、館の老朽化、来館者の増加に伴い、新館建設の機運が高まり、平成8年翁没後50年にあたり、それを記念し新館を全国のRCによびかけ、また多額の寄付により、平成10年に新館が完成しました。この完成を機に役員構成を全国組織に拡大しました。そのため国内はもとより海外、アジア地区からも来館者が増加し、国際的規模に発展して現在に至っています。館内には米山翁生涯の足跡、著書、筆跡、遺品の外、日本ロータリーの歩み、ロータリー米山記念奨学会の模様等が展示されています。

記念館の運営は秋季例祭の開催・春季例祭の開催・来館者の誘致活動・記念館パンフレットの作成・展示、蔵書の整理・米山梅吉記念館報の発行・運営委員会の開催等の運営に南RC2名の会員が参加しています。

5 本年度クラブ奉仕委員会の活動

【RC財団の活動】

南クラブのRC財団の具体的な事業は下記の事業に取り組んでいます。

- ・財団寄付について年次寄付は皆様の協力を頂き年頭初に一人100ドル達成させて頂いております。

- ・恒久基金のベネファクターの寄付についてはクラブ目標は一人ですが、現在中村、田中パスト会長の2人の方にご了承を頂いております。

- ・地区補助金申請は奉仕プロジェクト委員会の環境事業において、申請を行い地区の承認を頂いております。

- ・研究グループ交換(GSE)の協力については、ガバナー補佐から協力要請があれば対応したいと思います。

【米山記念奨学会の活動】

- ・米山記念奨学会の寄付については年頭初皆様の協力を頂き一人7,000円の寄付を頂いております。

- ・米山学友の状況調査の依頼により、過去2名の奨学生の現況情報の報告を行いました。

【米山梅吉記念館の活動】

- ・米山記念館の寄付については一人1,000円の寄付を皆様に協力頂いております。

- ・記念館の運営に保坂会員と共に参加しております。

以上

次回例会

11月30日(金) 卓話 金澤征子君

Photo Gallery



卓話の片野君



誕生日の 野中君・西原君



ゲスト: 大川照与さん

